

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	4単位
年間目標	国語の語彙力および読解力の向上をめざし、高校1年生の準備段階として古文漢文の基礎的な知識を身につけさせる。
使用教科書	『新しい国語』東京書籍
使用補助教材	『すぐわかる中学国文法』(吉野教育図書) 『論理エンジン』OS2～3(水王舎) 『中学必修テキスト国語3年』(東京書籍) 『級別常用漢字マスター』(研数書院)

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	巻頭詩 1 1 1	生命は 初恋 俳句の読み方、味わい方 俳句五句	詩の読み方を学ばせる。 表現の特徴を学び、暗唱できるようにさせる。 俳句の基本的な知識を学び、味わい方を身につけさせる。 名作を鑑賞し、各自で俳句を作成させる。
		2 3 資料編 資料編	形 絶滅の意味 知床—流水を巡る循環 風の唄	場面や登場人物を把握し、作者の寓意を読みとらせる。 論理的な展開に着目し、人間と自然のかかわりについて考えさせる。 夏休みの宿題として読ませる。
2 学 期	前 半	5 資料編 4	万葉・古今・新古今 恋の歌 黄金の扇風機	和歌の基本的な知識を学び、名作を鑑賞させる。 3つの歌集の特徴を知らせる。 文章を読み比べ、構成や表現の違いについて考えさせる。
		5 資料編 4	おくのほそ道 「おくのほそ道」の旅 サハラ砂漠の茶会	古文や俳諧に親しむとともに、文語の品詞や動詞の活用についての知識を身につけさせる。 松尾芭蕉の旅についての理解を深めさせる。 文章を読み比べ、文章の内容について自分の考えを持たせる。
3 学 期		5 6 7	論語 故郷 いつものように新聞が届いた	孔子の思想を理解させ、漢文の基本的な知識を身につけさせる。 場面や人間関係をとらえ、社会で生きる人間の姿を読みとらせる。 情報の意義とメディアの役割について考えを深めさせる。

評価方法	1学期、2学期は第1次と第2次試験の平均で、3学期は学年末試験一回で、それぞれ平常点を加味して評価します。
------	---

学習方法	本文をよく読み、意味が分からない語句や難解な表現は事前に調べたり考えたりしてノートに書き留め、授業に集中してそれらが正しかったのか確認することです。その積み重ねの上に語彙力、読解力の向上が見えてきます。古文漢文の知識も高校進学前に努力して暗記し、ぜひ修得しましょう。
------	---

注意事項	ノートをきちんととって、定期テスト前の学習の際、学習内容が思い出せるようにしておくこと。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	その時の授業で取り組んでいる単元の中学必修テキストの問題、また常用漢字マスター3級の問題を解き、自己採点してください。
-----------------------	---

中学3年生 公民 年間指導計画表

教科目(単位数)	公民(4単位)
年間目標	私たちが生きる現代社会を概観し、学ぶことで公民分野への関心を高め、地理的分野、歴史的分野との関連を図るとともに、現代社会を多面的・多角的に考察する。
使用教科書	東京書籍『新しい社会 公民』
使用補助教材	浜島書店『最新 公民資料』、文理『中学必修テキスト 公民』、『学習の達成 社会(東) 公民』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	人間の尊重と日本国憲法	人権の歴史と日本国憲法の制定 日本国憲法の基本原理 基本的人権と個人の尊重 国際社会と人権	人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に考えさせる。 日本国憲法の基本的原則についての理解を深める。 人権思想の確立は「人類多年にわたる自由獲得の努力の成果」であることを理解させ、憲法制定過程を歴史的におさえる。
	後 半	現代の民主政治と社会	民主主義とは、選挙の仕組み 政党と政治 国会の働き 行政と内閣 裁判所の役割と種類 三権分立	身近で具体的な事例を通じて現代日本の政治に関心を持たせる。 身近な生活の課題や問題が政治と深く結びついていることを、新聞記事などで活用し気付かせる。
2 学 期	前 半	私たちの生活と経済	消費と貯蓄、消費者の権利と保護 流通と生産の仕組み	消費生活を中心に経済活動の意義を理解させ、市場経済の基本的な考え方や現代の生産の仕組みについて理解させる。 私達の生活が経済活動と密接な関わりを持っていることを事例や体験を通じて気づかせる。
	後 半	市場経済と金融 国民生活と福祉	市場経済の仕組み 市場と価格、金融の働き 政府の仕事と租税 財政の働き、公害の防止と環境保全	市場経済にゆだねられない問題として、国や地方公共団体が果たす事柄についてのあらましを学び、その経済的な役割について考えさせる。 国民生活や福祉を考えるうえで、政府や地方自治体が果たす役割を理解させる。
3 学 期		地球社会と私たち	地球環境問題 地域紛争 主権国家と国際社会 国際連合のしくみと働き	国際社会のかかえている地球的人類的な課題の内容と、その解決のためにどのような努力が必要かがなされているかを理解させる。 国際社会における日本の役割やあり方を考えさせる。 紛争の原因について難解にならない程度にふれ国際社会のあり方、ルールについても具体的に理解させる。

評価方法	1学期 定期試験 小テスト 課題テーマのレポートの提出 2学期 定期試験 小テスト 夏休みの課題 課題テーマのレポートの提出 3学期 定期試験 小テスト 課題テーマのレポートの提出
------	--

学習方法	教科書をていねいに読んでわかりにくい箇所には下線を引き、授業に臨んでください。授業では、現代社会をとらえる見方や考え方について事例を基にした説明をします。板書を正確にノートに書き込み、授業の内容の理解に努めることが大切です。授業の後で、補助教材を使って必ず復習をしてください。
------	--

注意事項	授業を通じて、細かく指示します。
------	------------------

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	その時の授業のテーマについて、レポートの提出を課題として出します。
-----------------------	-----------------------------------

中学校3年 年間授業指導計画表

教科目 数学α 週3時間

教科書: 数研出版『体系数学2(代数編)』
 啓林館『未来へひろがる数学3』
 数研出版『高等学校 数学I』

数 学 α

学期	区分	単 元	内 容	目標・留意点
第一 学 期	前 半	第4章 関数 $y=ax^2$	1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化	関数 $y=ax^2$ の具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べ、関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知る。また、その特徴を調べ、問題解決に利用することが出来るようにする。
	後 半	第4章 関数 $y=ax^2$ 数学I分野 数と式	4 関数 $y=ax^2$ の利用 5 いろいろな関数 式の計算	具体的な事象の中から2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べ、関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知る。また、その特徴を調べ、問題解決に利用することが出来るようにする。 2次式や3次式の展開など基本的な計算を身に着ける。また、展開公式と関連させて、因数分解の公式が利用できるようにする。
第二 学 期	前 半	数と式	実数 1次不等式	中学2年までで学んだ平方根の内容を復習し、さらに理解を深める。不等式の意味を理解し、大小関係を表せるようにする。また、不等式を説くことの意味を理解する。
	後 半	2次関数	2次関数とグラフ	中学で学んだものをもとに、平方完成をしてグラフを表せるようにする。定義域・地域や最大値・最小値について理解を深め、求め方を理解する。
第三 学 期		中1から中3の総復習	高校一般入試対策	高校入試問題の過去問に取り組む
		2次関数	2次方程式・2次不等式	因数分解や解の公式を利用して2次方程式を解くことが出来るようになる。2次関数のグラフとx軸との関係から2次不等式を理解し、解を求められる。

補助教材: 数研出版「体系問題集数学2(代数編)標準」

「夏季課題問題集」, 「冬季課題問題集」

学習方法

1. 教科書をよく読み、その単元での要点を押さえる
2. 要点をノートにまとめる
3. 例や例題をノートに写しながら、問題の解き方を理解する
4. 実際に問を解いて、理解を深める
5. 問題集を使って、繰り返し練習する

中学校3年 年間授業指導計画表

教科目 数学β 週2時間

教科書: 数研出版『体系数学2(幾何編)』
啓林館『未来へひろがる数学3』
数研出版『高等学校 数学A』

数 学 β

学期	区分	単 元	内 容	目標・留意点
一 学 期	前 半	第4章 三平方の定理	1. 三平方の定理 2. 三平方の定理と平面図形	直角三角形の3つの辺の長さの関係を具体的な観察や操作を通して調べ、三平方の定理を見いだす。
	後 半		2. 三平方の定理と平面図形 3. 三平方の定理と空間図形	三平方の定理をいろいろな場面で活用しようとする態度を育てるとともに、活用できるようにする。
第 二 学 期	前 半	数学A分野 図形の性質	平面図形	中学2年までで学んだ内容を復習し、さらに理解を深める
	後 半	図形の性質	空間図形	中学2年までで学んだ内容を復習し、さらに理解を深める。
第 三 学 期		中1から中3の総復習	高校推薦入試問題 基礎学力到達度テスト対策	高校推薦入試問題を通じて、基本を身に付ける。 高校1年時に行われる基礎学力到達度テストの過去問を通じて、中学の内容を復習する。

補助教材: 数研出版 「体系問題集数学2(幾何編)標準」

「夏季課題問題集」, 「冬季課題問題集」

学習方法

1. 教科書をよく読み、その単元での要点を押さえる
2. 要点をノートにまとめる
3. 例や例題をノートに写しながら、問題の解き方を理解する
4. 実際に問を解いて、理解を深める
5. 問題集を使って、繰り返し練習する

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	理科 I (2単位)
年間目標	日常における現象を、力学的・エネルギー的な視点から捉え、多角的に理解ができるようにする。また、地球と人間活動との関係性について客観的に学び、現代人として理科的な視点からおさえておくべき知識の習得や価値観の育成を目指す。
使用教科書	東京書籍 『新しい科学 3年』
使用補助教材	『実力練成問題集 理科 3年 2017』
	正進社 『新理科表 デラックス』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	< 中学2年次の補充事項 > 第3章 電流と磁界	2. 磁界から電流が受ける力とモーター 3. 発電機のしくみ 4. 直流と交流	化学変化のうち、水溶液の性質について理解をする。また、人間活動における技術の発展と自然環境の変化の関係性について理解し、現代人として何をしていたらいいか、自分の意見を持てるようにする。
	後 半	単元1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	1. 水溶液と電流 2. 電解質の水溶液の中で起こる変化 3. イオンと原子の成り立ち	
	後 半	第2章 化学変化と電池 第3章 酸、アルカリとイオン	1. 電解質の水溶液の中の金属板と電流 2. 電池の中で起こる変化 3. 身のまわりの電池 1. 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2. 酸性、アルカリ性の正体とイオン 3. 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの変化	
2 学 期	前 半	単元3 運動とエネルギー 第1章 物体のいろいろな運動 第2章 力の規則性	1. 物体の運動 2. 力がはたらかない物体の運動 3. 運動の向きに力がはたらく物体の運動 4. 運動と逆向きに力がはたらく物体の運動 1. 力のつりあい 2. 力の合成と分解	「速さ」について、概念的に理解をする。物体の運動と加えられた力の関係性に関して概念的に理解をする。今まで習ってきた物理的な運動や化学反応がエネルギー的な視点から説明できることを理解する。また、問題演習を行い、数値計算上からも理解を深める。
	後 半	第3章 エネルギーと仕事	3. 慣性の法則 4. 作用・反作用の法則 1. 物体のもつエネルギー 2. 力学的エネルギーの保存 3. 仕事と力学的エネルギー 4. 仕事の原理と仕事率	
3 学 期		単元5 地球と私たちの未来のために 第4章 科学技術と人間 終章 継続可能な社会をつくるために	5. エネルギーの移り変わり 6. エネルギーの保存 1. 科学技術の発展 2. エネルギー資源の利用 3. 放射線の性質と利用	エネルギーの移り変わりに対する概念的な理解を深め、その応用を知る。また、現代においてどのような科学技術が求められているのかを、理科的な側面から学ぶ。 これまで学んだ内容を改めて復習をし、理解を深める。また、高校一年生になったときに、円滑に学習が進むよう、準備をする。

評価方法	1 定期試験の成績 2 学習態度等の平常点 1、2を本校評価法に合わせて判断する。
------	---

学習方法	実力練成問題集を用いた演習を行う。
------	-------------------

注意事項	受身の姿勢で授業を受けても、理科という科目は全く深まることはない。主体的に学ぶ姿勢を大切に、行動に移していかなければならないので、意識しておくこと。また、不明な点は適宜質問をすること。
------	--

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	実力練成問題集における今年度の既習内容について、各自ノートに演習すること。次回登校時にノートを集めるので、わかりやすくまとめておくこと。
-------------------------------	--

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	理科Ⅱ(2単位)
年間目標	細胞のレベルで見た生物のからだのつくりと生殖について理解させるとともに、親の形質が子に伝わる現象について認識させる。また、地球の運動によって生じるほかの星の規則的な運動についての認識を深める。さらに、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解し、自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりすることができるようにする。
使用教科書	東京書籍『新編 新しい科学 3年』
使用補助教材	『実力練成問題集 理科 3年 2017』 正進社『新理科表 デラックス』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖 1 生物の成長と細胞の変化 2 無性生殖 3 有性生殖 4 染色体の受けつがれ方	体細胞分裂について 植物と動物の無性生殖について 植物と動物の発生について 減数分裂と有性生殖・無性生殖の比較	観察・実験を通して生物の成長と増え方を、細胞レベルでとらえるとともに、細胞分裂のようすを理解する。また、植物、動物の生殖、親から子に形質が伝わるしくみについて学習することにより、生命の連続性が保たれることについて理解する。 メンデルの実験結果などに基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を理解する。また、遺伝子の本体がDNAであること、これらに関する研究成果が日常生活や社会の様々な分野で活用されていることについて認識を深める。
	後 半	第2章 遺伝の規則性と遺伝子 1 遺伝の規則性 2 遺伝子やDNAに関する研究成果の活用	メンデルの実験と法則について 農業への応用などについて	
2 学 期	前 半	単元4 地球と宇宙 第1章 宇宙の広がり 第2章 地球の運動と天体の動き 1 天体の位置の表し方 2 地球の自転と天体の動き 3 地球の公転と星座の移り変わり	銀河系の構造と太陽系の構造について 惑星の種類とその特徴について 地球の自転について 日周運動について 年周運動について	銀河系のようすや太陽系を構成している惑星、その他の小天体のようすを知ることで、宇宙の広がりに関心を持つ。また、太陽の特徴を見だし恒星と惑星の特徴を理解する。地球の運動について知り、天体の位置関係を地球の自転と関連付けてとらえることができるようにする。さらに、太陽と地球、月との位置関係によって月の満ち欠け、日食がおこることを理解する。作図によって満ち欠けの理解を深める。
	後 半	4 季節の変化 第3章 月と惑星の見え方 1 月の満ち欠け 2 日食と月食 3 惑星の見え方	季節が変化する理由について 月の見え方 日食と月食について 惑星の運動のしくみについて	
3 学 期		単元5 地球と私たちの未来のために 1 自然のなかの生物 2 自然環境の調査と環境保全 3 自然の恵みと災害	生態系、炭素の循環 自然界のつり合いの変化 気候の特徴と自然災害	生態系では生物が生産者、消費者として相互に関連していることについて理解を深める。また、人間と自然のかかわり方について認識をし、人間の活動も含め様々な要因が自然界のつり合いに影響していることも理解する。さらに、自然がもたらす恵みや災害などについて調べ、人間と自然のかかわり方について考察する。

評価方法	1 定期試験の成績 2 学習態度等の平常点 1、2を本校評価法に合わせて判断する。
------	---

学習方法	1 実力練成問題集を用いた演習を行う 2 課題や問題集を用いて家庭学習を行う
------	---

注意事項	受身の姿勢で授業を受けても、理科という科目は全く深まることはない。主体的に学ぶ姿勢を大切にし、行動に移していかなければならないので、意識しておくこと。また、不明な点は適宜質問をすること。実験を行う際には、実験室でのルールを厳守すること。
------	--

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	実力練成問題集における今年度の既習内容について、各自ノートに演習すること。次回登校時にノートを集めるので、わかりやすくまとめておくこと。
-----------------------	--

平成29年度 中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	週1時間
年間目標	これまでの学習を基にさらに幅広い表現を身に付ける。また、自分が好きな曲を実際に演奏することで、音楽を愛好する態度を育む。合唱祭に向けて、歌唱表現を高める。
使用教科書	「中学生の音楽2・3上」、「中学生の音楽2・3下」、「中学生の器楽」教育芸術社
使用補助教材	アルトリコーダー

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	○歌唱 花の街 ○鑑賞 「新世界より」	日本歌曲に親しむ イメージを膨らませながら鑑賞する	日本語の持つ美しさを感じ取り、表情豊かに表現させる。 楽曲が表現している内容を自分なりのイメージを持って感じ取らせる。
	後 半	○鑑賞 「シェエラザード」 ○器楽 リコーダーアンサンブル	様々な楽器の音色に親しもう リコーダーアンサンブルに親しむ	楽曲の特徴を理解し、オーケストラにおける様々な楽器に親しませる。 より高度なアンサンブルに取り組ませる。
2 学 期	前 半	○歌唱 上を向いて歩こう ○鑑賞 ピアノ協奏曲	歌謡曲に親しむ ピアノ協奏曲に親しむ	日本語の持つ美しさを感じ取り、表情豊かに表現させる。 ピアノやその他の楽器の協奏曲に親しみ、協奏曲について理解させる。
	後 半	○鑑賞 ポピュラー音楽 ○器楽 リコーダーアンサンブル	ポピュラー音楽に親しむ テノール、バスを含むアンサンブル	ポピュラー音楽の特徴を感じ取り、表現する。 テノール、バスを含んだ4声のアンサンブルに親しませ、 総合的なアンサンブル能力を向上させる。
3 学 期		○鑑賞 日本及びアジア諸国の音楽 ○合唱 旅立ちの日に	世界の様々な音楽に親しむ 歌詞に心を込めて歌う	日本やアジア諸国の音楽に親しみ、音楽の多様性を感じ取らせる。 歌詞の内容を吟味し、心を込めて歌わせる。

評価方法	実技試験(歌唱・器楽)、ノート検査を学期ごとに数回行い、採点する。
------	-----------------------------------

学習方法	・器楽、歌唱 楽譜を正しく読み、音として表現する。また、表現の工夫をし、自分なりの演奏をできるようにする。 ・鑑賞 楽曲の成り立ちや作曲者について理解する。また音楽を形作っている様々な要素を感じ取り、自分なりの感想を文章で表現できるようにする。
------	---

注意事項	特になし
------	------

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	特になし
-------------------------------	------

平成29年度・中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	1単位
年間目標	自然の造形, 美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め, 心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち, よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。
使用教科書	光村図書美術2・3 38光村 美術822・823
使用補助教材	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	デッサン(幾何形体)	円柱・円錐の表現 遠近法(透視図法)→1点・2点・3点 透視図法 鉛筆によるパチング表現	物の正しい形をとらえると同時に空間感を表現する。 パチング技法の習得。鉛筆柔硬の使い分け。
	後 半	デッサン(幾何形体)	円柱・円錐の表現 遠近法(透視図法)→1点・2点・3点 透視図法 鉛筆によるパチング表現	物の正しい形をとらえると同時に空間感を表現する。 パチング技法の習得。鉛筆柔硬の使い分け。
2 学 期	前 半	室内を描く	透視図法による空間表現 家具・調度品など正しく配置する	パースペクティブ(遠近感)の表現。対角線をもとした分割による物の正しい位置の把握。最仕上げ→ペン 大きなパース(歪み)があるの位置関係に注意。
	後 半	室内を描く	透視図法による空間表現 家具・調度品など正しく配置する	パースペクティブ(遠近感)の表現。対角線をもとした分割による物の正しい位置の把握。最仕上げ→ペン 大きなパース(歪み)があるの位置関係に注意。
3 学 期		平面構成	グラフィックボードによる表現 4～6色による色分け	明度、色調、彩度の使い分けの応用、仕上げ美しいハーモニー、目的をもった色彩表現(単二色～三色の明暗と対比させる)

評価方法	提出作品・制作態度
------	-----------

学習方法	参考作品の提示
------	---------

注意事項	制作の密度を上げる。
------	------------

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	レポート提出
-------------------------------	--------

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	保健体育(3単位)
年間目標	中学生期は心もからだも著しく発達する時期である。日常の生活をおくるなか心身の機能の発達や変化、自身を取り巻く生活環境への対応など自らの健康管理や生活行動が適切に実践できるよう正しい知識を身に付ける。
使用教科書	東京書籍『新しい保健体育』
使用補助教材	東京書籍『新しい保健体育』学習ノート

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期		健康な生活と病気の予防 生活行動・生活習慣と健康	健康の成り立ちと病気の発生 食生活、運動、休養と健康 生活習慣病	健康は適度な運動・栄養の調和のとれた食事、適切な休養をとることによって、保持・増進させることができることを理解させる。個人の健康と集団の健康は密接に関連しており、相互に影響しあっていることを理解させる。食事・運動・休養に関する正しい知識を身につけ、自ら健康に気をつけて生活していく姿勢を持たせる。
2 学 期		喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	喫煙、飲酒と健康 薬物乱用の現状と予防	喫煙、飲酒、薬物がからだにあたえる害や健康におよぼす悪影響について、正しく理解させる。また、喫煙、飲酒、薬物の防止についての適切な判断力を身につけさせる。
3 学 期		感染症の予防 個人の健康と集団の健康	感染症の原因 性感染症、エイズの現状と予防 健康な生活を送るためのしくみ	感染症は、どのようにして起こるか理解し、知識を身につけさせる。 また、エイズの現状を理解させ、正しく対処できるよう身につけさせる。

評価方法	定期試験及び平常点(ノート検査等)による評価
------	------------------------

学習方法	
------	--

注意事項	
------	--

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	
-------------------------------	--

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	保健体育(3単位)
年間目標	様々な運動を通して基礎的な体力の向上をはかるとともに運動をすることの喜びを感じ、安全性に配慮しながら仲間と協力することの大切さや、公正な態度を身に付け生涯を通して健康でスポーツのできる身体をつくる。
使用教科書	東京書籍『新しい体育実技』
使用補助教材	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期		ハンドボール(男子) バスケットボール(女子)	ハンドボール パス(ショルダーパス・アンダーハンドパス) シュート(ステップシュート・ジャンプシュート) ドリブル 簡単なコンビネーションプレー ゲーム(4対4のパスゲーム・ハーフコート5対5・7対7の正式なゲーム)	ハンドボール ハンドボールを通して、走る・跳ぶ・投げるなどの基礎的な体力を身に付ける。 チームの特徴を生かした組織的プレーを実践することにより、積極性・協調性を身につける。 ボールが硬いため、常に周囲の安全を注意した上でボールを扱わせる。
			バスケットボール パス(チェストパス・バウンスパス・オーバーヘッドパス・アンダーハンドパス・ショルダーパス) シュート(セットシュート・ジャンプシュート・レイアップシュート)	バスケットボール パス・ドリブル・シュートなどの基礎的な技能を正しく身につけてチームメイトと協力してゲームを楽しむ。 ゲームを通して、ルールやマナーを守る態度と、全力を尽くしてプレーする精神を養う。
2 学 期		走り高跳び(男子) バレーボール(女子)	ドリブル 簡単なコンビネーションプレー ゲーム(3対3のパスゲーム・3対3のハーフコートゲーム・5対5の正式なゲーム)	捻挫防止の為、シューズを正しく履かせる。 突き指防止のため、正しいボールのキャッチの仕方を指導する。 ルールを守り、公正な態度で試合に臨ませる。
			バレーボール パス(アンダーハンドパス・オーバーハンドパス) サービス(アンダーハンドサービス・サイドハンドサービス) トス レシーブ アタック 6対6のゲーム	バレーボール ゲームを通して、基本的なパスやレシーブにより、ラリーを楽しむことができる。 チームにおける自己の役割を自覚して、その責任を果たし、たがいに協力して練習やゲームができるようにする。勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。
3 学 期		バスケットボール(男子) 走り高跳び(女子)	走り高跳び 走り高跳びについての解説 助走・踏み切り・空中動作・着地 はさみ跳び	健康・安全に留意して練習やゲームができるようにする。 走り高跳び リズムカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶこと。 空中動作を工夫し、バーを越える技術を身につける。 一連の動作を身につけ、自己の記録に挑戦する。

評価方法	第1学期 各種目実技試験 第2学期 各種目実技試験 第3学期 各種目実技試験
------	--

学習方法	男女別で、AB・CD合同、E単独で実施する。
------	------------------------

注意事項	服装を整え(頭髪・つめ・学校指定の体育着を着用)、準備運動・補強運動をしっかりと行う。
------	---

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	
-------------------------------	--

中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	保健体育(3単位)
年間目標	様々な運動を通して基礎的な体力の向上をはかるとともに運動をすることの喜び楽しさを感じ、安全性に配慮しながら仲間と協力することの大切さや、公正な態度を身に付け生涯を通して健康でスポーツのできる身体をつくる。
使用教科書	東京書籍『新しい体育実技』
使用補助教材	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
		柔道	柔道 投げ技 1 背負い投げ 2 大内刈り 3 払い腰 投げ技の約束乱取り 寝技の自由乱取り	柔道 投げ技の基本を理解する。 投げられた際、受け身をしっかりとる。 危険がないようまわりに注意すること。 崩し・体さばきの必要性を理解する。 相手の動きに合わせて技に入れるようにする。
		剣道	剣道 剣道の特性 礼法・木刀の扱い方 基本動作 基本6 すりあげ技 基本7 出ばな技 基本8 返し技 基本9 打ち落とし技	剣道 1) 剣道の特性を理解し、礼法や所作を正しく身につける。 2) 木刀の扱い方を理解し、基本動作を正しく行う。 3) 対人技能を通し構え・目付け・間合いを身につける。 4) 剣道の技を理解し仕かけ技・応じ技を習得する。
		ダンス	ダンス パントマイム(緊張と弛緩) 体育祭でのダンス(扇) セブンモーティブスによる創作 クラスでの創作 テーマに添った創作	ダンス 美しくまとまりのある作品作りと鑑賞ができる。 自主的・計画的に練習や発表ができる。 マスケームにおける、ひとり一人の役割(重要性)を理解する。 自主的・計画的な活動を促す。

評価方法	柔道 投げ技実技(手技 腰技 足技) 剣道 木刀による剣道基本技稽古法(基本6～基本9) ダンス 体育祭でのダンス、創作ダンス、卒業作品
------	--

学習方法	男子は前期、柔道(A・C・E前半)剣道(B・D・E後半)とし、後期、柔道(B・D・E後半)剣道(A・C・E前半)とする。女子はAB・CD合同、E単独で実施する。
------	--

注意事項	服装を整え(頭髪・つめ・学校指定の体育着・柔道着を着用)、準備運動・補強運動をしっかりと行う。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	
-----------------------	--

平成29年度・中学3年生 技術科年間指導計画表

教科目(単位数)	技術・家庭 技術分野 週1時間
年間目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力を育てる。
使用教科書	東京書籍『新しい技術・家庭 技術分野』
使用補助教材	実習 ペットマト マグカップ 情報教材 タイプクイック

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	〔コンピュータ〕 コンピュータの利用1 (技術) ペットマトの栽培	・修学旅行での見学地をコンピュータを利用して調査する。 ・ペットボトルによる栽培。	・検索エンジンの利用 ・正確な情報を入手する方法を学ばせる。 水栽培でどのように栽培ができるか観察する。 変化があったことを記録する。
	後 半	〔コンピュータ〕 コンピュータの利用2 〔技術〕 機械 ペットマトの栽培	・現地調査後のレポート提出 ・機械の仕組み(回転運動と往復運動) ・機械の各部の名前(自転車やエンジン) ・内燃機関と外燃機関 ・ペットボトルによる栽培。	・ワープロソフト、スキャナ、などを利用し、レポートの作成をする。 ・著作権に留意する。 水栽培でどのように栽培ができるか観察する。 変化があったことを記録する。
2 学 期	前 半	〔技術〕 機器のしくみと保守点検1 ペットマトの栽培	・身の回りの機械の動くしくみなどを調べる(自転車と4サイクル内燃機関) ・エネルギーの変換と公害問題 ・ペットボトルによる栽培。	・身近な機器に興味を持たせる。 ・電気を利用する機器について理解させ、そこから環境問題を考えさせる。 水栽培でどのように栽培ができるか観察する。 変化があったことを記録する。 レポートの提出
	後 半	機器のしくみと保守点検2 コンピュータの利用	・身の回りの機械の動くしくみなどを調べる 課題について、レポートをまとめる グラフなどの利用を含む	・身近な機器に興味を持たせる。 レポートにグラフや写真の貼り付けができることを理解させる。
3 学 期		〔コンピュータ〕 コンピュータの利用3	ペイントソフトの利用方法 コンピュータを利用し、画像の編集をする。 →「お絵かき」感覚でソフトの利用方法を学ぶ。	卒業記念作品にふさわしい作品に仕上がるよう指導する。ただし、「著作権」違反には注意する。

評価方法	第1学期 トマトのレポート 栽培記録ト 第2学期 トマトのレポート 課題レポート 第3学期 作品提出[マグカップ]
------	---

学習方法	教科書と授業、実習により理解を深める
------	--------------------

注意事項	コンピュータの取り扱い、実習中のけがなどに注意する
------	---------------------------

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	教科書の精読を通じて、知識の定着を図る。
-------------------------------	----------------------

平成29年度 中学3年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	技術・家庭 家庭分野 週1時間
年間目標	実践的・体験的な授業を通して、衣食住の知識の理解と生活に役立つ技術を実践的に習得できるようにする。知識や技術を定着させ、高校への学習につなげるようにする事を目標とする
使用教科書	教育図書 『技術・家庭 家庭分野』
使用補助教材	被服実習:株式会社スタイリッシュ『 お楽しみイベントはっぴ 』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	1章 わたしたちの衣生活	1 自立した衣生活のために 2 衣服の着用 3 衣服の入手 4 衣服の手入れ 5 衣服の処分 縫い方の基本	自分たちの衣生活を見直し、その働きを知る。TPOに合わせた衣服の選択を理解し、実践できるようにする。 手縫いの基本的な縫い方を知り、日常生活で実践的に出来るようにする
	後 半	被服実習	はっぴの製作	ミシンの使い方を修得し、作品の製作ができ、実際に使用できるようにする。
2 学 期	前 半	D 身近な消費生活と環境 1章 わたしたちの消費生活	1 わたしたちの消費生活 2 いろいろな買い物方法 3 買い物の法律的な意味	商品の購入、生活情報の活用、表示の確認が出来る 販売方法やさまざまな支払方法がわかる 契約と消費者の権利と責任を理解する
	後 半		4 ねらわれている消費者 5 消費者トラブルの解決 6 買い物の社会的な意味	中学生の消費問題を考える
3 学 期		D 身近な消費生活と環境 2章 家庭生活と環境	1 消費生活と環境とのつながり 2 持続可能な社会をめざして	環境や資源を考えた生活出来るようにする 限りある資源の有効利用できるようにする

評価方法	1・定期試験 2・授業態度 3・実習態度 4・提出物 5・小テスト
------	---

学習方法	教科書と授業ノートをよく見て、理解を深める
------	-----------------------

注意事項	被服実習の際に、家庭に持ち帰って課題をすることを禁じる。万が一行った場合は被服実習の点数はなしとする。
------	---

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	教科書及び副教材の精読を通じて、知識の定着を図る。
-------------------------------	---------------------------

中学3年生 「総合英語」 年間指導計画表

教科目(単位数)	中学3年 総合英語(4単位)	
年間目標	Reading	教科書の本文を読んで、内容の大筋を理解でき、要点を整理できる 1文が短く、単純な構文で書かれた教科書の本文を、日本語に訳さなくても、内容を理解できる 外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大まかな流れを理解できる
	Listening	教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる 英語のネイティブスピーカーが、スピードやイントネーションなどに配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる
	Speaking	英語のネイティブスピーカーの先生と、自分のことなど、なじみのなる話題について英語で短いやりとりができる 学校や身の回りの話題に関する自分の考えを、英語で言うことができる
	Writing	「英語表現(2単位)」での達成を目標とする
	使用教科書	NEW CROWN English Series 3(三省堂)
使用補助教材	中学必修テキスト(文理)、リスニングCD(三省堂)、3分リスニング、高校入試とともすっきり英語長文(旺文社)、基本英文法2100	

学期	区分	単元	内容	目標・留意点		
1 学期	前半	Lesson1 My Favorite Words 心にひびくことば	(受け身) This room is cleaned...	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得 		
		Let's talk① 道案内をしよう	Could you tell me how to get to ..?			
		Lesson2 France - Then and Now フランスと日本の文化交流	(現在完了 Lesson2 and 3) I have lived ... Have you lived ...? How long have you lived ...?			
		Let's talk② どうかしましたか	What's wrong?			
	後半	LESSON 3 Rakugo Goes Overseas 世界に羽ばたく伝統芸能	I have visited ... once. Have you ever visited ...? Tom has just finished ... Tom has not finished ... yet. (不定詞・副詞的用法) be glad to ~		<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得 	
		LESSON 4 The Story of Sadako 佐々木貞子さんの物語	(動詞call, makeなど+A+B) We call the dog Pochi. The book makes me happy. (形式主語のIt) It is ~ for A to ... * the burnt lunchbox / the crying people			
		Let's talk③ 買い物しよう	Would you...?			
		Lesson 5 Place to Go, Things to DO どこに行っておくべきか	(関係代名詞) a book that has ... a teacher who comes ... a bus which goes... / the letter that I received			
	2 学期	前半	LESSON 6 I Have a Dream キング牧師のえがいた夢		(分詞・後置修飾) the girl playing ... a book written by ... (関係代名詞の省略) The country I want to visit ...	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得
			Let's talk④ 玉子料理はいかがですか		Would you like ..?	
Lesson 7 English for Me わたしにとって英語って?			(不定詞: want + 人+ to...) Tom wants me to ... (間接疑問) I don't know why... *so~that ... can't	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の重要表現の暗記 新出単語の発音・意味・綴りの習得 文法事項の習得 		
Let's talk⑤ 電話しよう		Could you ..?				
3学期		3年間の総復習・入試対策		<ul style="list-style-type: none"> 入試問題に対応する力をつける。 高校への連結をスムーズにする。 		

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト 提出物
------	--

学習方法	教科書を中心に授業を進め、Reading, Listening, Speakingの3技能を伸ばす。音読を重視する。ページ毎の単語試験、暗記試験を実施する。
------	--

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に小テストを実施し、理解の乏しい生徒を早期発見する。補習を実施し、生徒間での学力差を埋める。 毎学期はじめにスプリングコンテストを実施する。 学年全体での暗唱テストを実施する。(I have a dream.) 学年全体でのスピーチコンテストを実施する。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	補助教材を使い、学習を進める。
-----------------------	-----------------

中学3年生 「英語表現」 年間指導計画表

教科目(単位数)	中学3年 英語表現 (2単位)	
年間目標	Writing	自分の意見や感想、または出来事の描写を、辞書を引かずに程度まとまった量を書くことができる 英語の手紙やメールなどを、辞書を引かずに書くことができる
	Reading	「総合英語(4単位)」での達成を目標とする
	Listening	
	Speaking	
使用教材	中学英語の完成 文法パターン練成(育伸社)	

※網掛け部分は「総合英語」と対応しています

学期	区分	文法単元	英作文テーマ	教材該当ページ
1学期	前半	受動態	おはし、味噌汁、うちわを説明する(どのような場面で使われるか)	1・2年の復習 85~93
		疑問詞+to	ツアーガイドに、旅行のプランについてたずねる①	3. 疑問詞+to~
		現在完了(継続)	自分が昔からしていることについて書く	2. 現在完了
		現在完了(経験)	自分が体験したことについて書く	2. 現在完了
		動名詞	最近一日にしたことや考えたことの日記を書く(動名詞の文を入れること)	1・2年の復習 83, 84 7. 動名詞
		be動詞、一般動詞など	自己紹介や友達の紹介をする	1・2年の復習 1~33
	後半	進行形、名詞の複数形	絵の人物の説明、昨日の〇時にしていたことを書く	1・2年の復習 38~45
		分詞	絵の人物の説明をする(分詞を用いて)	4. 分詞
		It is...for/to to~	早起き・数学の勉強・本を読むことは自分にとってどうか書く	9. It - (for...) to~
		name~, make~	自分のペットについて書く/自分を幸せにしてくれるもの・ことについて書く	10. 注意すべき文型
		want to~	将来の夢について書く	1・2年の復習 75~82
2学期	前半	不定詞(副詞用法)	日記を書く(どこに何をしに行ったか詳しく)	1・2年の復習 94~100
		前置詞	時・期間・場所を表す前置詞を用いた文を書く	1・2年の復習 94~100
		関係代名詞(主格)	好きな漫画・アニメのキャラクターについて説明する	5. 関係代名詞
		関係代名詞(目的格)	自分の大切な物、好きな物についてShow and Tellをするときの原稿を書く	5. 関係代名詞
		will, going to~	友達を歓迎会に誘う文章を書く/週末の予定を書く	1・2年の復習 63~74
	後半	may, must	休日にしなくてはいけないこと・しなくてよいこと・してもよいことを書く	1・2年の復習 46~50
		命令文・感嘆文	学校生活のルールを友達にアドバイスする	1・2年の復習 46~50
		want 人 to~	友達や家族にしてほしいことを書く	8. ask...to~
		間接疑問文	ツアーガイドに、旅行のプランについてたずねる②	6. 間接疑問文
		注意すべき不定詞	とても~なので...できない(できなかった)、という文を自分の体験に当てはめて書く	11, 12. 注意すべき不定詞
3学期	比較①	英語、理科、音楽の中で好きな教科はどれか、比較しながら理由をつけて書く	1・2年の復習 51~62	
	比較②	英語を学ぶことと中国語を学ぶことはどちらが大事か。理由をつけて書く	1・2年の復習 51~62	
	I think(know) that~	友達の良いところを書く	1. 接続詞	
3学期	ifの用法	週末の予定を書く(雨の場合、晴れの場合)	1. 接続詞	
	その他		第3部 入試実践問題 p.94~p.127	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 授業内課題(英作文)
------	---

学習方法	<p>①与えられたテーマに沿って、英語で自分の経験や考えなどを表現する。(プリントを使用)</p> <p>②表現をするために必要な文法知識を学習する。(テキストを使用)</p>
------	--

注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 単に文法問題演習を行うだけの授業にはしない。 文法は、英語で表現をするために必要な知識であることを理解させる。 必要に応じて、教科書(NEW CROWN)に載っていない文法項目を学習させる。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	補助教材を使い、学習を進める。
-----------------------	-----------------